

学校だより



算数科研究授業頑張っています！ -1年生-



東野小学校では各学級が1年に1回ずつ算数科の研究授業を行っています。これは、校内外の先生に参観をしていただき、招聘した講師から指導を受けたり、参観者全員で協議を行ったりして授業の改善につなげていく校内研修になります。

今回は、1年生が行いました。すでに、5・6年生、たんぼぼ学級が終わっています。9月には2年生、3・4年生が研究授業を行います。

その時に限らず、子供たちは毎日一生懸命授業に臨んでいます。



6/27 読み語りをしていただきました！ -読み語り朝会-

6月27日の朝会時に、3名の先生方にご来校いただき、2学年ごとに集まって、読み語りをしていただきました。子供たちは先生方の抑揚のある語り口調にあっという間に引き込まれ、お話の世界に浸っていました。朝会時に心がほかほかする素敵な時間を過ごし、子供たちは心穏やかに一日をスタートさせました。

11月18日、2月20日にも読み語りをしてくださることになっています。今からとても楽しみです。

1・2年生



梶原 敏子 先生



3・4年生

岸 保江 先生

5・6年生



佐々木 博子 先生



6/27 大崎上島町防災倉庫見学しました！-6年生-



6月27日の9:00から旧東野中学校跡地にある「大崎上島町防災倉庫」へ6年生が見学に行きました。町役場から防災を担当されている橋高さんに来ていただき、防災倉庫内の案内や防災についてのお話、実際にパーティションや簡易ベッドを組み立てたり、段ボール製の簡易トイレを見せていただいたりしました。たくさん備蓄されているように見えて、町民全体で考えると食料と水は1日分にしかならないそうです。各家庭での備蓄が大切だそうです。



水はポッカサッポロさんから毎年300ケースいただいているそうです。



奥の棚には食料(クラッカー、マジックライス)が備蓄されています。



移動式の消火栓です。いざという時は、給水栓につないで消火に当たります。



大崎上島町の防災体制についてお話を聞いています。公助だけでなく、自助や共助が大切です。



パーティションの中から段ボール製の簡易トイレを見せていただいています。



パーティションの中で簡易ベッドを組み立てているところです。狭い中での作業は大変です。

橋高さんのお話では、「防災倉庫での備蓄には限界があり、災害時に備えて、各家庭での備蓄が大切になってくる。今は、どのようにして町民の方一人一人の防災意識を高め、いざ災害が起きた時のための備えをしていただくかが課題です」とのことでした。

どんな災害でも起きてからでは、物資が不足することが考えられるので、普段から右の図にあるような「ローリングストック」に取り組んでいけたらいいと考えています。「ローリングストック」とは日持ちするものを少し多めに購入していただいて、消費期限が近づいたら家庭で食べ、食べた分だけ補充するというものです。援助が届くまでの1週間程度の家族分の備蓄品があると少し不安が和らぐかもしれません。



備蓄品

援助物資が届くまでの数日間(1週間~10日間程度)自足するためのもの

◆非常食

- 飲料水(1人1日3リットルを目安に)
- 食料(アルファ米、缶詰など)
- 調味料 など

◆燃料

- カセットコンロ
- ガスボンベ
- 固形燃料 など

◆生活用品

- 簡易トイレ
- 新聞紙
- 洗面用具
- 鍋・やかん
- 毛布・寝袋
- 電池
- トイレ用ペーパー など

◆緊急時の家族、親戚、知人の連絡先

